

平成 21 年度第 4 回中野市豊田地域審議会 会議録

1 開催日時及び場所 平成 22 年 2 月 3 日（水）午後 2 時
中野市豊田支所大会議室

2 出席委員及び欠席委員氏名

(1) 出席委員 ・ 神田融二 ・ 清野秀昭 ・ 坂本文弘 ・ 西野三恵子
・ 神田一枝 ・ 市川清人 ・ 山口光左 ・ 藤田忠良
・ 小林登美子・ 津金裕子 ・ 関きよ子 ・ 高野良之 ・ 神田寿

(2) 欠席委員 ・ 西澤隆雄 ・ 神田明光

(3) 出席職員等 ・ 市長 ・ 副市長・総務部長 ・ 健康福祉部長 ・ 子ども部長
・ 暮らしと文化部長 ・ 経済部長 ・ 建設水道部長 ・ 消防部長
・ 教育次長 ・ 議会事務局次長
・ 豊田支所長・地域振興課長 ・ 地域振興課長補佐兼総務係長
・ 地域振興課長補佐兼振興係長 ・ 地域振興課市民生活係長
・ 地域振興課総務係（市川主事）

3 議題及び議事の顛末

進行：豊田支所長

1 開 会 【藤田副会長】 午後 2 時

2 あいさつ 【高野会長】
【市長】

3 会議事項 (1) 「豊田地域の振興に関する意見書」の回答について

○会 長：それでは議事に移りたいと思います。次第の(1)「豊田地域振興に関する意見書」の回答について議題といたします。
資料の第1総論については日々の行政、運営の中で対応していただいておりますので、次の第2地域資源の活用と産業振興策の推進について、ご説明をお願いいたします。

○経済部長： 第2の地域資源の活用と産業振興策の推進の中で、(1)「農産物の地産地消の推進及び観光農園・農産加工品の開発等、農業と観光の連携策を促進されたい。」について、回答は資料のとおりです。市における農業は市の基幹作業として推進しており、これからも進めていきたいと考えており、特にそこに付加価値をつけるという意味では、観光農園・農産加工品の開発等も重要な要素と考えています。そういう中で運営主体のJA北信州みゆき等関係機関と協議しながら進めていきます。また道の駅東側にドックランが昨年秋に完成し、施設の充実化を図れてきていますので、それも踏まえ政策推進していきたいと考えております。またこれからの方向付けでございますが、農と商に工を付け加えた、農・商・工を連携した施策を取り組んでいきたいと考えております。

次に(2)「農業者の高齢化対策、後継者育成、遊休荒廃農地解消に向けた集落営農組織の育成や法人化等の促進を図られたい。」でございますが、回答にございますように、現在中山間地域直接支払制度がこのエリアでも協定数で14、受益面積49.5haで活用されてきています。またこれからも制度改正により制度が変わってくるが、新制度における協定にあたりましては集落説明会を実施していきながら新制度の柔軟な利用を図っていきたいと思っており、この1月14日から豊田地域において、職員が新制度の利用説明会をしてきております。また中山間地域直接支払制度の対象にならない区域については農地・水・環境保全対策事業を積極的に活用していきたいと考えております。今まででは、上今井地区、中野地域におきましては、厚貝地区において制度導入が図られており、平行して制度を導入して参りたいと考えております。それから中野市産業公社についてですが、りんごの収穫等の農作業支援者紹介事業に公社が取り組んできており、また機械作業受託事業、優良堆肥供給事業の活用、農作業体験研修事業を通じて豊田営農支援センター事業の充実を図っていきたいと考えております。また集落営農組織について、近年古川地籍の水田地帯を埋め立て等しながら有効活用をしていくということで、地域で取り組みをされていますが、現在管理する古川耕作組合と協議しながら組織化に向けた取り組みを進めています。その他の区域でも組織化を支援していきたいと考えております。また後継者育成事業については、従来から取り組んできておりますが、これからも継続していきたいと考えております。

(3)「中山間地域の農林業に対する有害鳥獣被害に対し、電気柵、オリの設置等の対策について、助成範囲の拡大を図られたい。」について、電気柵設置につきましては3戸以上のまとまりに対して国の補助、

例外のケースによっては市の単独補助もしています。またオリの設置について、例えばイノシシ用オリは中野地域には設けられていますが、豊田地域にはありません。これは猟友会が設置するもので有害駆除の資格を有している事が前提での設置となりますのでご理解をお願いいたします。以上です。

- 議長： 第2の回答についてご質問ありませんか？
- 委員： (1) 農産物の地産地消の推進及び観光農園の件ですが、回答の中に道の駅ふるさと豊田に併設の農産物直売所についてですが、聞くところによると農産物直売所を拡幅すると聞いていますが、具体的な方向性について聞かせていただきたいと思います。
- 経済部長： 農産物直売所の関係でございますが、その件につきまして詳しい資料は持ってきておりませんが、道の駅農産物直売所のスペースが狭いと前から問題になっていること、位置的に困っているという課題を聞いております。基本的には借りている側のJA北信州みゆきがどのように思っているかが課題になると考えております。私ども経済部が考えているのが、道路側から見て北側の駐車場の雪の置き場の辺をなんとか当面、活用できないものかなということとは部内で話している状況であります。
- 委員： ありがとうございます。JAの立場からすると1日でも早く広げていただきたい、会社の立場からすると若干なりとも家賃も貰わなければいけないと思い、経営の事を考える中で、早く方向性を示していただいて、十分配慮いただきながらその方向もだしていただきたらありがたいと思いますのでお願いいたします。
- 市長： そこは中野市であり、JA北信州みゆきが前からやっているわけでありまして、私としてはJAの方も一緒になって経営が出来れば一番いいのかなと思っております。そして今意見がありましたが、道の駅そのものをどうするかというのは、それぞれ委託した会社がどうやって運営していくかよく考えてもらい、あそこは中野市の玄関でもありますので、是非考えてやってもらいたいと思っております。
- 議長： それぞれの立場でご意見をいただきましたが、農協の理事という立場もありますし、社長という立場もございますので、経済部と打ち合わせ、

すり合わせをした中で、今後運営していただけたらと思いますが、それでよろしいですか。

○経済部長： 市長が申しあげましたように、部の方ともいろいろ相談いただければと思います。また当面は雪置き場の辺にテントを2張、50万円くらい投資すればできるのではと思いますけれど、それもJA北信州みゆきの方でご検討いただければと思います。以上です。

○議長： ありがとうございます、地域審議会でこういう意見が出たというのは市・豊田地域のためになることをやらなければいけないという事が最大の目的でございますので、JA・市と両方で意見を出し合った中で、上手に運営していただき、地域の発展を我々は望んでいるわけでありませう。道の駅の運営が上手にいくということは、農産物、地域の農家が潤うという事に繋がるので宜しく願いいたします。他にご意見ありませんでしょうか。

○委員： 赤坂農村公園・ドッグラン等も地域の資源としてご活用くださいとありますが、ここはどういう管理、使用基準等ありますか。

○経済部長： 当初は、公園内に管理棟等設置しての管理体制、人員配置を想定していましたが、現在管理棟は設置しておらず、現状の中で運営していきたいと思っております。

様子を見に行きますと、結構多くの方々が使われています。話をお聞きしましても使いやすいというお答えをいただいています。新しい施設なものですから、日陰が少ないというのがありますが、非常に好感をもって迎えられているかと思えます。これからの管理体制ですが、使用料の徴収を考えておりましたが、当面は現状の中でマナー良く使っていただきたいと考えております。また道の駅等との連帯性をもっと発揮した形にしていきたいと考えております。以上です。

○議長： 他にご意見ございますか。ないようでしたら次に進みます。第3ふるさと自然環境の保全についてのご説明をお願いいたします。

○くらしと文化部長： 「千曲川両岸における民間事業者、県の適切な指導をしてください。」また、「飯綱町における産廃処理施設の建設計画についても地元の意見を尊重して適切なる対応を」という意見をいただきました。

回答ですが、千曲川兩岸の産廃処理事業者の指導につきましては、長野県とも連携をして対応してきております。そして県と市が指導しまして毎年3月に開催しております、地元の区と関係業者が集まり連絡会をしておりますが、今後も継続していきたいと考えております。連絡会につきましては関係業者、中野では長丘地区、豊津地区の関係の皆さん、県、市が集まりまして開いてきておりますが、今年につきましては今月の末には開催をしたいと予定しています。それぞれの民間業者と中野市との間には公害防止協定を結んでおり、毎年7月頃に協定に基づいて市の職員が立ち入り調査をして進めてきております。それから飯綱町の関係ですが平成19年5月、6月位から仙台市の業者から申し出てきているという事でございますが、当然議会等、中野市といたしましても、地元の皆様方の意向を尊重して今後慎重に対応していくと考えています。また平成19年11月に飯綱町芋川区と豊田地域の区長さん方によりまして、第1回の連絡協議会を開催してきまして、意見交換や今後の対応について協議をし、それ以降回数会議等を開催してきているということであります。直近では、平成21年6月25日に開催しまして、今までの経過説明等してきたところでありまして、それ以降もいろいろな業者等の名前もあがっておりますが、今現在いずれの業者からも新しい県の条例に基づいての事業計画協議というような正式な手続き等は全く行われていないという状況であります。以上です。

○経済部長： 続きまして（2）「斑尾山麓に市民が森林浴を楽しめる遊歩道やトレッキングコースの整備を図りたい。」にお答えします。資料のとおりでございます。平成6～7年度にかけて、旧豊田村の時代に生活環境保全林整備事業で遊歩道を整備されております。経年劣化等によって荒廃しているという状況を確認していますので、平成22年度3月議会で提案の予算が認めていただければ緊急雇用創出事業を適用して、遊歩道の整備を実施したいと考えており、内容につきましては遊歩道の草刈、修繕、倒木の除去、機能保全や、機能回復する作業をし、近隣の「斑尾高原体験交流施設」や「信越トレイル」と連携を持たせた整備を考えています。以上です。

○議長： 何かご質問ございましたらよろしくお願いたします。
○委員： 斑尾高原の遊歩道等の整備についてですが、マレットゴルフ場等を含めれば、かなり大きい施設になるだろうと思うわけでありまして。いろいろ経費もかかり、大変な状況かと思いますが、お話を聞くところ

によりますと、西組協議会の皆さんは要請があれば、整備等についてお手伝いしたいという温かいお言葉を聞いております。また、マレットゴルフ場等においては（株）斑尾で管理しており、非常に大変なわけであり、是非環境整備をしていただきたいと思います。

○議長： これについて、経済部長回答をお願いします。

○経済部長： 私が申し上げた事業は、そういったマレットゴルフ場まで整備できればよいのですが、遊歩道等の線的な整備で、信越トレイルまでは繋げたいという事で、マレットゴルフ場よりもはるかに広範囲な整備を実施したいと思いますのでよろしくお願いします。

○議長： 他にありますかでしょうか。

○委員： 斑尾高原体験交流施設はどこにありますか。あと信越トレイルは野尻湖に向かっていく道のことですか。

○経済部長： 信越トレイルは、一番南が斑尾山麓で、そこから飯山を通り、県境の山の峰をトレッキングコースとして整備されたラインです。また斑尾高原体験交流施設は、通称・まだらおの湯の事でございます。

○議長： 他にご意見ありますかでしょうか。地域審議会検討委員会の中でも観光施設、観光資源となる斑尾山を何とか信越トレイルだけで終わらせないで、斑尾高原交流施設等まで繋げていただきたいと思いますという事で意見をまとめて出したわけでありまして。それから、マレットゴルフ場については、豊田村当時 3,000 万円くらいかけて作ったマレットゴルフ場なので、市の方で整備していただければ一番いいのですが、なかなか難しいでしょうが、我々とすれば市へすべてお願いするのではなくて、できれば施設全体で管理している（株）斑尾でも、少し手を入れながらお互いに上手にやっていただきたいのが本音でございます。同じ市の施設、第3セクターですので、よく意見のすり合わせをして整備をしていただきたいと思います。

それでは第4 魅力ある定住環境と社会資本の整備についてご説明をお願いいたします。

○建設水道部長： （1）「国道・県道などの主要幹線道路のしゅん工に向けて早期実現

を図りたい。」に関しまして、中野市県土木事業要望会あるいは各同盟会等を通じまして、事業着手区間の早期完成と未改良区間の改良促進を強く要望しております。代表的な要望の機会として、中野市県土木事業要望会は5月に実施しております。また7月には長野県議会危機管理建設委員会が現地視察の節にも要望しております。また昨年10月長野県建設部へ出向きまして同盟会合同の提言を実施しております。豊田地区の事業区間等に関しましては(1)～(6)に記載してあるとおりでございます。

続きまして(2)「千曲川の無堤地区の築堤、砦地区の護岸対策の整備促進及び内水問題の解決に向けて早期の実現を図りたい。」について、各同盟会等を通じまして国土交通省また県等に要望をしております。国土交通省に関しましては、1～5に記載してあるとおりでございますが、このような同盟会あるいは地元の委員会等を通じまして千曲川河川事務所また国土交通省の地方整備局等に要望・提言を実施しております。県につきましても土木事業要望会また北信地域の同盟会を通じまして提言等を行っており、実施を強く要望しております。千曲川の関係につきましても、千曲川河川事務所の管内におきましては、現在中野市地域が重点的に事業配分されて実施しているところでございます。

○総務部長： (3)「豊田地域に若者が定住し、または市外から人が移り住み、人口の維持が図られるような支援策を検討されたい。」でありますがこの件につきましては豊田地域に限定したものではありませんが、平成19年から県が主催いたしました、県下37市町村が加盟します「楽園信州」推進協議会に加入しまして、移住、交流促進、観光、農業体験等の情報提供に努めています。ホームページによる情報発信につきましては、空き家の物件の紹介、仕事の情報提供、県外での相談会では東京・大阪・名古屋で開催しております。また各種相談会等での広告物の設置、市町村パンフレットの配布をしております。単独でやるよりは県の協議会に入ったほうが効果が大きいということで田舎暮らし「楽園信州」推進協議会に加入して事業を進めております。市の単独事業では信州なかの会会員等を対象といたしまして、故郷回帰促進事業も実施しております。

(4)「JR替佐駅について利用の促進、利便性の維持向上、駐車場整備に配慮されたい。」についてですが、平成20年度に中野市の公共交通総合連携計画を策定しました。計画ではJR飯山線は、広域的公共交通骨格軸として位置付けまして、路線バスとの運行形態等を踏まえ、飯山線とバスの接続拠点駅として「替佐駅」を位置付けています。現在基幹

バス路線永田線を全便親川発着として、ふれあいバスを永田地域・穴田地域・豊田支所を接続いたしまして JR 替佐駅を經由できるように利用促進に努めております。替佐駅周辺ですが、すでに民間の会社と替佐区により駐車場が整備されております。市内各駅とのバランスを考えて、新たな駐車場を整備するという考えはございません。また JR 上今井駅であります、JR 利用者が自宅から駅まで自動車を利用して車において鉄道に乗換える駅として位置付けておりますので駐車場として整備したものであります。以上です。

○議 長： ありがとうございます。続きまして（５）についてお願いいたします。

○建設水道部長： （５）「豪雨時における土浮地籍の排水路について、排水処理容量が不足しており災害が頻発する恐れがあるため総合的な排水対策を検討されたい。」についてですが、近年ゲリラ豪雨と呼ばれる集中豪雨により、短時間に大雨が降る傾向が強まりましたことで、既設の水路では排水処理が不足しているものと思われます。市では本地域の排水処理計画を本年度から２年かけて作成する予定です。なお、緊急措置としましてグランメール横にあります水路改修を実施したところであります。以上です。

○議 長： ありがとうございます。この第４につきましてご質問ありましたらよろしくお願いいたします。

○委 員： （５）問題についてお尋ね、お礼申し上げます。おかげさまで、土浮地籍の緊急避難的排水路ですが、ご説明にもありましたとおり、グランメールさん横の排水路を大きくしていただきまして、非常に排水がよくなることと思います。付近の皆さんも工事を拝見して、非常に安心感をもたれたことと思います、ありがとうございます。引き続き、そのこの箇所だけではなく、市へお願いしました要望事項につきましては、記載してあるように、「これから２年間かけてやってきますよ。」ということでございますので、ぜひ、そのようにしていただきたいと思いますが、各豊田地域でも工事があるかとおもいますが、雨が降る度に、国道のガソリンスタンド周辺は冠水して通行止めにもなります。よってこの１本だけを改良したとしても、こういった問題はなかなか解決しないのではないかと思いますので、是非、関連しました要望を最優先で工事を

お願いいたします。また工事着手にあたり、線路があるので JR との関係で難しい問題があったと聞いておりますが、そういった問題をクリアしていただきまして、応急工事していただいたことに関しまして、御礼と感謝申し上げる次第であります。引き続きこの問題を最優先によりしくお願いいたします。

○議長： ありがとうございます。この問題について替佐地区としては、大変大きな問題ですので引き続きお願いしたいという事であります。今、委員さんからお礼の言葉が述べられましたが、引き続きお礼を言っていたけりような工事をまた市の皆さんにお願いします。他にありますか。ないようなので、第5の教育・福祉の地域づくりについてご説明をお願いいたします。

○健康福祉部長： (1)「若者の結婚問題について、社会福祉協議会その他協力団体と連携して多くの若者が結婚に至ることができるような施策を検討し推進されたい。」について、結婚問題につきましては市から社会福祉協議会に委託を申し上げて、若者の出会いのきっかけ、あるいは結婚の相談等の事業をしております。今後とも各種交流イベント等を通じてきっかけづくりをしていきたいと思っておりますが、現在の計画とすれば、年3回程程度の交流会をしていきたいという事であります。平成21年度につきましても、夏の出会い・クリスマス、バレンタイン等の催しを実施してきております。それから、イベント以外にも結婚相談事業も通年開設しており、社会福祉協議会の事務局にご相談の時には、事務局に連絡をいただきたいと思っております。事務局に連絡していただきますと、専門の相談員さんにご相談していただく事となっておりますのでお願いいたします。

○議長： ありがとうございます。続きまして(2)小中学校の再編についてのご説明をお願いいたします。

○教育次長： (2)「小中学校の再編については、学校が地域における主要施設であり、心の拠り所になっている現状を踏まえ、地域住民の意見を尊重し均衡ある発展に配慮されたい。」についてですが、当市におきましては少子化が進んでおり、未来に向かってそれぞれの学校におきまして、少人数化していこうという事で心配しておりますが、その中で子供たち

の育ちをどうしていけばいいのか、あるいは、正常な成長発達をどのように確保していけばいいのか、このような問題については慎重な検討が必要であり、現在内部で検討しております。この問題につきましては、次代を担う子供たちのことでもありますので、市民の皆さん全員で考えていただく問題であり、単純に数字だけで再編をしていけばいいとは考えておりません。平成 19 年度から教育委員会だより等で、子供たちの育ちに寄せる願いや、子供たちが育っていく環境の中で、学校を考える・学校環境を考える、支える・遊びの環境づくり・心はぐくむ環境づくりということで、それぞれ情報の提供に努めてまいりました。今後につきましては、市民の皆様の考えをお聞きするために地域で懇談会を開催していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

- 議 長： ありがとうございます。第5についてご質問はありますか。
- 委 員： 若者の結婚問題についてですが、結局は後継者問題にもつながることだと思いますが、社会福祉協議会で計画しているイベントが年3回程ということですが、いつごろからイベントやチラシ配って催物を始めたのか、またその後の結果、状況を教えてください。
- 健康福祉部長： こうしたイベントのチラシを作成して配布したり、毎月発行しております社協だよりも掲載させていただいて PR しております。年3回とありますが、8月にサマーキャンプ、12月にクリスマスパーティー、2月バレンタイン等ということで実施しております。来年度につきましても計画してまいりたいと思っています。結果ということではありますが、カップルは結構成立しておりますので奮ってご応募していただきたいと思っております。
- 委 員： 何年前から社協等でイベント始めたのですか。
- 健康福祉部長： 3年位前からだと思います。
- 委 員： ありがとうございます。
- 議 長： 他にご質問ございませんか。ないようなので豊田地域の振興に関する意見書に対する回答が終わるわけですが、他にこれに関連すること、あるいはこれと違う意見でもいいですが発言はありますか。

- 委員：（５）の豪雨の時の災害関係ですが、市道大俣線の道路の法面が崩れてしまいましたが、復旧については千曲川を管理している国土交通省でなく、市で復旧工事をするという話を聞きまして、３月までには確実に復旧するということですが、今度そこが崩れますと道が崩落しますので、３月中には工事が終了するのでしょうか。
- 建設水道部長：千曲川の関係もありまして、若干工事が遅れ気味になり、誠に申し訳ないのですが３月までにはやります。
- 委員：よろしく願いいたします。
- 議長：ありがとうございました。他にありますか。
- 委員：昨年８月のゲリラ豪雨の復旧工事ですが、可能な限り豊田地域の業者に発注していただけたらと思います。
- 建設水道部長：建設水道関係では１２５件という大量な箇所であり、地元業者を優先し、随意契約するということもありまして、地元業者を優先して５社くらいで指名競争入札で契約をしたところもあります。実際には、豊田地域全部を豊田地域の業者に発注となりますと、手詰まりになってしまいますので指名競争でやらせていただきました。地元業者優先には変わりございませんので、よろしく願いいたします。
- 議長：ありがとうございました。他にありませんか。
- 委員：要望ですが、経済部長にお伺いいたします。産業公社の件ですが、豊田農産物加工施設で大豆を荒廃地で作っています。ふるさとファームでも作りました。加工施設では白豆を栽培していますが収穫時期が他の大豆と比べ収穫時期が早く、収穫を産業公社にお願いしたら、「今は蕎麦の収穫をやっているから駄目、まだ行かれない」といわれ木島平の産業公社の方へ急遽お願いして収穫をやってもらいました。ふるさとファームは青豆なので１１月３日以降になるといいですよといわれました。蕎麦の収穫と大豆の収穫では、コンバインの取付部品が違うということで、部品の交換が困難らしく、交互にはできない、蕎麦の収穫時期が終わってから大豆を収穫すると話は聞いていますが、可能ならば、もう少し早

目に大豆の収穫に利用させていただければと思います。要望ですが、今年
はぜひ使わせていただきたいと思います。

○経 済 部 長： せっかく産業公社で買った機械ですので、有効活用するという中で、
蕎麦の収穫時期と大豆の収穫時期の調整を早目にやるように、産業公社
に話をしたいと思います。また時には業者同士が譲り合うという事も予
想されますので、ご理解願いたいと思います。

○委 員： 収穫を依頼する単価も木島平村より安いので、ぜひ、使わせていただ
きたいです。

○議 長： 次に何かございませんか？ないようですので、次第のその他について
地域振興課長からありますのでよろしくお願いします。

○地域振興課長： （中野市水道事業運営審議会委員の推薦について説明）

○議 長： 中野市水道事業運営審議会委員に神田寿委員、津金裕子委員兩名引き
続きしたいがいかがでしょうか。
（異議なしの声で了承される）

○議 長： 本日予定しました議題はすべて終了いたしました。ありがとうございました。
他にないようですので、議長を下ろさせていただきます、ご協
力ありがとうございました。

○豊田支所長： ありがとうございました。以上持ちまして、平成 21 年度第 4 回中野
市豊田地域審議会を閉会とさせていただきます。お疲れ様でした。